



はじめに

情報科学の世界II

2020年度

只木 進一（理工学部）

「情報」とは

- ▶ 情報：或ることがらについての知らせ、判断を下したり行動を起したりするために必要な知識。（広辞苑）
 - ▶ 情：ようす。
 - ▶ 報：知らせること。また、その内容。
- ▶ コンピュータやインターネットと関係ない
- ▶ 「データ」、「情報」、「知識」

Informationとは

(in Oxford Advanced Learner's dictionary)

- ▶ **Inform**: to tell somebody about something, especially in an official way.
- ▶ **Information**: facts or details about somebody/something
- ▶ **Data**: facts or information, especially when examined and used to find out things or to make decisions
- ▶ **Knowledge**: the information, understanding and skills that you gain through education or experience

現象、データ、情報、知識

現象

ある観点で切り取り
観点は知識が定める

データ

データを分析
分析方法は知識を反映

情報

情報を抽象化・一般化・体系化
経験、教育・研究の成果

知識

例

▶ 気象現象

- ▶ データ：気圧、気温、風速、風向
- ▶ 情報：前線の停滞
- ▶ 知識：天気予報

▶ 経済現象

- ▶ データ：決算、労働人口、失業率、為替
- ▶ 情報：景気動向
- ▶ 知識：経済予測、経済政策

「情報」と情報技術

- ▶ 情報の効率的処理：コンピュータ
- ▶ 情報の効率的伝達：インターネット
- ▶ コンピュータやネットワークを使わなければできない、情報の処理と伝達はあるか？

- ▶ データの高速処理を通じて
 - ▶ データの分析
 - ▶ データからの予想
- ▶ インターネットを使って
 - ▶ データ収集
 - ▶ 並列処理

情報通信技術と社会

- ▶ 情報通信技術の社会への浸透
 - ▶ 様々なオンライン情報
 - ▶ 様々なオンラインサービス
 - ▶ 気づかないところにも情報通信技術
- ▶ 情報通信技術なしの生活は考えられない

便利なだけだろうか

- ▶ 情報通信技術によって、確かに**便利**になった
- ▶ 情報通信技術は、**人々の意思疎通のあり方、考え方、生活に大きな影響**を与えている：**文化的影響**
- ▶ その影響を、**正負の両面**から見ておく必要がある

情報化による文化的影響

- ▶ 地理的距離を乗り越える情報流通
 - ▶ 情報流通の高速化
 - ▶ 適切な情報を選び分ける能力が必要
- ▶ 言語的壁を乗り越えるコミュニケーション
 - ▶ 自動翻訳
- ▶ 画像、音声などの記号化

情報通信技術に潜む危険

- ▶ 個人情報漏えい
- ▶ 不正利用
- ▶ システム攻撃
- ▶ 犯罪
- ▶ 健康被害
- ▶ 偽情報の急速な拡散

この講義では

- ▶ コンピュータと情報システムの基本
 - ▶ コンピュータの仕組み
 - ▶ インターネットの仕組み
- ▶ 社会の中で、情報通信技術の使われ方
 - ▶ 大まかな仕組み
 - ▶ 課題

さらに

- ▶ 情報通信技術にはたくさんのカタカナ言葉
- ▶ 言葉は、思考の道具
 - ▶ 外国語のカタカナ表記
 - ▶ 日本独自のカタカナ語
- ▶ 意味を考えよう

課題

- ➡ 駅などに「Information」という表示がある場所があります。どういう意味で「Information」が使われているか、考えましょう。